

令和7年第11回（11月）山陽小野田市教育委員会会議定例会会議録

1 日 時 令和7年11月20日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 市役所 第2別館会議室2

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 竹 田 佳 枝
委 員 河 村 芳 高 委 員 嶋 本 顕
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼教育総務課長	矢 野 徹
学校教育課長兼心の支援室長	升 谷 哲 也	埴生幼稚園長	福 間 久美子
学校給食センター所長	吉 村 匡 史	社会教育課長	山 本 修 一
中央図書副館長	増 富 久 之	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会代表	高 良 哲 也	中学校長会代表	大 田 誠
書 記	田 坂 優 香		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 報告第12号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について

(中央図書館)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について

(学校教育課)

② 県費負担教職員の兼職及び他の事業等の従事許可について

(学校教育課)

③ 市職員の人事について

(教育総務課)

④ その他

(7) 閉 会

開 会

それでは、定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による１１月の定例教育委員会会議を開催します。

本日は、委員全員出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。嶋本委員、竹田委員よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程「６.その他」の「（１）県費負担教職員の人事について」、「（２）県費負担教職員の兼職及び他の事業等の従事許可について」、「（３）市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告に入ります。まず私からは、１０月３０日と３１日に実施されました中国都市教育長会議に参加いたしましたので、その報告をします。

本日は、文部科学省からの行政報告で説明にありました、「教師を取り巻く環境整備について②」をご報告します。

この説明は、教育職員の給与等特別措置法（給特法）ですが、この給特法改正法が令和７年６月１日に成立したことを受けて、その改正の趣旨や内容、今後の教育委員会としての取組についての説明でした。ご存じのとおり地方公務員である教員は、地方公務員法及び労働基準法の一部を除き、適用を受けます。しかしながら教員の仕事については、勤務時間の内外を切り分けがたいという教師の

職務の特殊性を踏まえ、時間外勤務手当等は支給しない、給料の月額４％を教職調整額として支給する「給特法」が制定されています。

このたび教師を取り巻く環境整備の１つとして、同法の改正が行われました。この背景には、教師の厳しい勤務実態があります。平成２８年から進めております教員の働き方改革ですが、令和４年度教員勤務実態調査等踏まえた年間を通じた推計ですと、未だに小学校教員が月平均４１時間、中学校教員は月平均５８時間の時間外の業務をしております。一般行政職が月平均１５時間であることと比較しても、現在の教職員の状況は改善されているとはいえ、まだまだ時間外が多いという報告がありました。また、今の学校の働き方に不安を感じる学生、教師志望者も多く、これまでのように一定の質を担保した人材の採用が危惧されているところです。令和６年８月「令和の日本型学校教育を担う質の高い教員の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」にもあるとおり、学校における働き方改革の目的は、教職の魅力向上・優れた人材の確保であり、そのことが結果的に子どもたちへのより良い教育の実現につながることであります。本市においても、学校における働き方改革を一層推進しております。加えて、この法律の改正によって市教育委員会には、教員の業務量の適切な管理と健康・福祉を確保するための措置「業務量管理・健康確保措置」といっています。この２つを実施するための計画の策定・公表、計画の実施状況の公表・計画の内容及び実施状況について総合教育会議への報告が義務付けられています。また、学校においては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４７条の５関係で、校長が学校運営協議会の承認を得ることとなっている学校運営に関する基本的な方針に、「業務量管理・健康確保措置の実施」に関する内容を含めるとなっています。業務管理につきましては、文部科学省では令和１１年度までに月平均３０時間程度に、８０時間を超える教職員については、早急に無くさなければならないものとして指針に示しています。

このたびの法律改正により、こうした業務量を管理するために国・県・市及び学校でそれぞれ取り組むことも明記されているところです。特に市教育委員会として取り組むこととしては、業務量の在り方を見直す議論の促進、その資料として文部科学省が示した、学校と教師の業務の３分類についての周知、市内の学校が一斉に着手すべき取り組みの旗振り、学校の好事例の横展開、勤務実態の厳しい教師のいる学校への指導助言等が求められています。こうした説明を受けて、本市としても学校と教師の業務の３分類、これはお配りした資料についております。参考にしながら本市の実情にあった対応を一層進めていく必要を感じております。「国家百年の計」は教育にあり、教育を支えているのは教員であることを心にとめ、学校における働き方改革を着実に取り組んでまいりたいと思います。この３枚ある資料の内の１枚は、地域・保護者の皆様向けのチラシ。一番上にとめてあるのが教育委員会の皆様へのチラシです。これに法律の改正の用紙とか今説明したことをまとめておりますので、また時間があるときに見ていただけたらと思います。

以上で報告を終わります。

それでは、私の報告につきまして何かご意見ご質問はございませんか。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

はい、嶋本委員。

○嶋本委員

働き方改革というのは学校に限らずいろんなところで勧められていますけど、最近、高市総理が緩和というか、逆行するような発言をされたと思いますけど、こういう発言の影響はあるんでしょうか。

○長友教育長

直接な影響があるわけではありません。働き方改革も時間外のことをすごく話すことになるんですが、学校現場におきましては、その内容についても話しているところですし、また時間ばかりのことを言って、教師の働き甲斐をなくすのでは本末転倒であるということで、そうした働き甲斐も含めて教師の働き方改革を考えようということになっております。高市総理が言ったからということに対しての反応が各学校であるわけではないというふうに承知しています。

○嶋本委員

はい、ありがとうございます。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

今の話の続きというか、いろいろな学校の変革、時間の短縮とかそういうことを、教師の働き方改革のためというような感じで捉えられている保護者の方がとても多いように感じます。そのあたりのわかりやすい説明といえますか、そこだけではないということをご理解いただけるような、やっぱり学校側の努力というか伝え方にも少し工夫していただけるといいのではないかと思います。

○長友教育長

はい。働き方改革の目的が、子どもたちへのより良い教育の実現というところが最終ゴールですので、働き方改革はその手段ですから、ゴールがブレないようにきちんとした説明をまた各学校の方には示していきたいと思います。

○竹田委員

はい、お願いします。

○長友教育長

よろしいですか。

それでは、藤山教育部長お願いします。

○藤山教育部長

私の方からは、山陽小野田市防災標語コンクール表彰について報告いたします。

このコンクールは、市長を委員長とする実行委員会主催で、防災教育の一環として未来を担う子どもたちに防災標語を募集することで、防災意識を高め、災害に強いまちづくりの構築に寄与するものとして、令和2年度から開催されています。

この実行委員会は、市・市教育委員会・市セーフティネットワーク・市自治会連合会・市防犯防災協会・市ふるさとづくり協議会・市女性団体連絡協議会・市防災士協会で構成されており、私と升谷学校教育課長が委員として審査会・表彰式に出席いたしました。

表彰式は11月4日に開催されました。ここで令和7年度山陽小野田市防災標語コンクール表彰作品一覧と書いてある資料をご覧ください。ページ数を入れてなくて申し訳ありませんが、資料裏面の2ページ目、一番右の列に今年度の実績が載っております。小学校から1,239点、中学校から1,151点の合計2,390点の中から1ページ目にありますとおり、最優秀作品に赤崎小学校の米彌遥仁さんの「迷わずに すぐ避難せよ まずは自助」が、その他の作品一覧の児童生徒が優秀作品、佳作に選ばれ表彰されました。

最優秀作品につきましては、来年度の市の防災スローガンとして、市広報やホームページに掲載するほか、出前講座等でも周知し、防災意識の高揚に活用する予定です。

資料の３ページ以降は、市が策定した国土強靱化地域計画を載せております。４ページ目にあるように、この計画はハード面・ソフト面を備えて、どのような災害が起ころうとも最悪の事態を避けることができるように行政や地域等のその取組をまとめたものです。この計画の中で最後のページにあるとおり、防災教育に我々は取り組まなければなりません。

このコンクールは、子どもたちが防災の大切さを学び、考える機会となっており、教育委員会としても今後も引き続き参加、協力してまいります。

私の方からは以上になります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい、河村委員。

○河村委員

山陽小野田市といったら海に面していますよね、山陽町と一緒に山もあるので、山陽小野田市全体として将来どういう災害を想定されているのか、そのために何か特別に災害に対して準備されていることはあるんでしょうか。

○藤山教育部長

そうですね、ちょっと私の範疇と違うところかもしれませんが、やはり開拓のまちですので、３、４メートルでしたかね、南海トラフで津波が来るということで、市のかかなりの部分がそういった津波の影響を受けると捉えていまして、自助というところで市内全域に防災の情報が流れるようなことを各校区においてそういうところを整備する中で、早めの避難を最初に取り組んでいるのではないかと私としては捉えております。

○河村委員

はい、わかりました。私も水害とか高潮とか経験しましたが、地震はほぼないかなと。油断しているわけではないけど、各地で地震や大きな災害が起こっていますが、山陽小野田市では地震というのはあまり考えておられないんですかね。

○藤山教育部長

いえ、先ほども申しましたとおり、国土強靱化計画がどのような災害でも対応できるようにということで、地震災害についても対応できるように、具体的に言えば、小学校・中学校であれば地震が起きても崩れないような対策もとっているということで、市役所ももちろんそうになっていますし、避難所も地震の影響を受けないような場所を避難所として指定するというので、決して地震についてまったく考えていないことではなくて、それを踏まえての対応をしていると捉えています。

○長友教育長

近くに菊川断層とか、いくつか断層があるとも言われていますので、今まではないかもしれませんが、今後ということは予測論の中にも入っていると聞いております。その他よろしいですか。

続きまして、矢野教育次長兼教育総務課長お願いします。

○矢野教育次長兼教育総務

はい。私の方からは寄附採納について、ご報告いたします。お手元の資料をご覧ください。2件の寄附をいただいております。ご確認をお願いします。

続きまして、教育委員会が共催又は後援する行事等一覧表でございます。こちらもお手元の資料をご覧ください。

社会教育課あるいは学校教育課の方で共催又は後援について、10月1日から10月31日までの間に承認したものとなっております。ご確認をお願いします。

最後に1つ、8月に総合教育会議を開催いたしまして、その中で教育大綱・教育振興基本計画の策定について今年度進めてまいるということで申したところでございます。こちらにつきましては、いよいよ教育委員会の中で詰めの作業をしているところです。近く皆様の方に案をお示しして共有の場を設定したいと考えておりますので、その際にはどうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

先月の図書館長さんのお話の中にあった、西広ショータさんのCDの件なんですけど、さっそく寄附していただいたということなんですけど、これはどのようにこれから活用していかれる予定でしょうか。

○増富中央図書館副館長

はい。

○長友教育長

はい、増富中央図書館副館長。

○増富中央図書館副館長

図書館の方からお答えします。ライオンズクラブさんの方で音源の費用を負担していただきまして、西広ショータさんのCDを寄附していただきました。

活用ですが、教育長の方から提案がございまして、各市内の小中学校でお昼休み、給食の時間に流して西広ショータさん及び図書館のPRになればということで、現在CDを購入して焼き回しを進めているところです。

○竹田委員

はい、ありがとうございます。希望していたので、うれしいです。ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、升谷学校教育課長兼心の支援室長をお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。学校教育課から報告させていただきます。

まず、就学時健診についてです。以前にも少し報告をいたしましたが、9月25日（木）から始まった就学時健診は、11月6日（木）に無事終了しました。今年度からすべての就学時健診を、小学校ではなく公共施設で行う形式に変更しました。具体的には、山陽小野田市民館で4回、厚狭複合施

設で2回行いました。特に大きなトラブルもなく、滞りなく実施されました。この形式での健診は、来年度以降も継続して行う予定です。

ちなみに、来年度（令和8年度）に小学校へ入学する予定の児童数は、現時点で351名でございます。

次に、松原分校販売学習についてです。

11月1日（土）に、竜王中学校松原分校の「秋の販売学習」が行われ、地域や保護者の方等、多くの方が訪れていました。子どもたちは、自分たちが育てたサツマイモや手作りのしおり等を、来校された方々との対応を楽しみながら販売していました。

来校者の皆さんは、生徒たちの優しく丁寧な接客等、一生懸命な姿に感心するとともに、多くの品物を手に取って購入していました。保護者や地域のボランティアの皆さんの協力もあり、とても和やかな雰囲気が漂っていました。

「秋の販売学習」を通じて、生徒たちは商品を売るだけでなく、多くの人々との触れ合いを楽しみながらコミュニケーション力や自信を高めるとともに、達成感を味わっていました。

子どもたちの優しい笑顔が印象的な1日でした。

次に、教育支援センター（心の支援室）の活動状況についてです。

11月14日（金）にふれあい相談室で初の試みとしてハイキングを実施しました。参加者たちは、小野田ふれあい相談室（労働会館）の駐車場を出発し、竜王山の展望台まで、往復およそ7キロの道のりを元気に歩きました。

山頂では、美しい景色とお弁当を楽しみました。その後子どもたちは、鬼ごっこをしたり、会話を楽しんだりと思い思いの時間を過ごしていました。当日は快晴で、九州がはっきり見渡せる抜群の景色で、引率をした支援員や参加された保護者の方もその美しい景色を楽しんでいました。

私は、昼食時間にお邪魔させていただきましたが、参加しているどの児童生徒も笑顔で秋の一日を満喫していました。参加した誰もが、心地よい疲労感に包まれ充実感を味わっている姿を見て、このハイキングが子どもたちにとって有意義なものであったと感じています。

以上で、学校教育課からの報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい、河村委員。

○河村委員

就学時健診についてですが、私も校医として参加させていただきました。今までは各学校で、先生方に大変な負担がかかる健診だったと思いますが、2年前から変わって、市の施設で行うようになりました。とてもスムーズで効率的にできますので、非常に良く改革されているなという感想です。

そして、良かったのかということ各校医にアンケートも取られていたので、きめ細かな配慮もされていて、私個人的には非常に良いやり方に変わってきているなと思っていますので、教育委員会の努力は本当に感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい、末永委員。

○末永委員

就学時健康診断の件ですが、初日の高泊小学校と小野田小学校が同じ日というのは、人数的なものでこういうふな日程になっているのかなというふうに見て思ったんですが、そういうことでしょうか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい、そうです。おもに人数的なもの、校医さんの関係で学校を割り振っているところです。

○末永委員

はい、今納得しました。ありがとうございます。校区は全然違うな、バラバラだなと思ったので、ありがとうございます。校医さんもあるので難しいとは思いますが、中学校区でまとまるとまたいいかなと思いますが、ご検討いただければ、よろしくお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい、ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、福間埴生幼稚園長お願いします。

○福間埴生幼稚園長

はい、埴生幼稚園です。

園の様子についてご報告いたします。

11月7日に行われた親子遠足についてお話しします。この日は9時10分に糸根公園駐車場に集合してもらい、山陽消防署埴生出張所の見学をしました。消防車や救急車、建物の中を見せてもらい、煙体験も行いました。その後、糸根公園へ行き親子で運動遊びをしてお弁当を食べ、遊具等で遊んで解散しました。

次に地域の祭りの参加についてお話しします。11月3日に埴生地域ふれあい文化祭、16日に中村ふれあい祭りに参加しました。地域の方々に温かく見守られ子どもたちは日頃と同じようにステージで歌を歌ったり、体操をしたりしました。

続いて、11月29日に行われる保育発表会についてお話しします。子どもたちは、今、遊戯に劇、合奏と練習を頑張っています。今年も、子どもたちの思いを聞きながら取り組んでいます。緊張しつつも笑顔が見えたり大きな声でセリフを言ったりと、楽しんでいる様子が伺えます。発表会当日は、保護者の方々が昨年度より多く来られる予定です。子どもも保護者の方々も楽しい時間が過ごせるように取り組んでいこうと思います。

12月は、持久走の開始や祖父母参観日、餅つき、クリスマス会等の行事があります。感染症対策を行い、健康管理に気を付けてまいります。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、吉村学校給食センター所長お願いします。

○吉村学校給食センター所長

給食センターから2件報告いたします。

1件目、学校給食センターの行事についてです。

11月ですが、施設見学、試食会が1件ございました。学校試食会は、埴生小学校と厚陽小学校の2校で実施されました。アンケートの保護者の意見はまちまちでしたが、学校給食を知っていただけ

たと感じています。

巡回指導は、9校で11回実施されます。

また、昨年の米不足を受け、台湾のインド太平洋戦略シンクタンクと台日産経友好促進会から山口県を通じて本市へ70kgの台湾米の寄贈を受けました。

台湾では、海鮮が入ったおかゆを食べることなので、14日にこの台湾米を使った「台湾米の海鮮ぞうすい」と、「鶏肉の中華炒め」を提供しました。子どもたちにはちょっと台湾を感じてもらえた献立だったと思います。「台湾米の海鮮ぞうすい」ですが、台湾米は日本米に近い品質と味なので、子どもたちには抵抗なく受け入れられたようです。

2件目、山陽小野田市学校給食センター運営協議会の開催についてです。

学校給食費の改定について審議するため、11月17日（月）に第2回山陽小野田市学校給食センター運営協議会を開催しました。

委員14人中12人の参加があり、学校給食費の改定について、各分野の代表の方から意見をいただきました。

協議会では物価が高騰しているので、学校給食費の改定は仕方ないし、1食あたりの給食費も仕方ないのではとの意見でした。PTA連合会代表からは、子どものことを思えば、給食が充実することを望みますが、親としては、負担は少ない方がよいとの意見が出ました。

今回の運営協議会は、給食単価が正当であるかについて審議していただきましたが、保護者代表の方は保護者負担が気になるようでしたが、審査の対象とはしておりません。

また、国の給食費無償化の動きがあるようですので、本市といたしましても、国の動きに対応できるよう準備を進めていきたいと考えています。

報告は以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい、河村委員。

○河村委員

今聞き逃したと思うんですけど、台湾と当市の関係で寄贈されたんですか。それとも、台湾と日本の関係でされたんですか。

○吉村学校給食センター所長

台湾と日本の関係と、大きく言えば山口県と台湾の関係できました。山口県を通じて、台湾米がいる市町はございませんか、という呼びかけがありました。台湾の方から山口県に寄贈するというご意見があって、県は各市町の給食で使う所はありますか、という呼びかけがありましたので、本市は手を挙げて70kgいただくこととなりました。

○河村委員

台湾と山口県の関係というのは、以前からあったんですか。

○吉村学校給食センター所長

台湾と日本については、日本が台湾に米作りを伝えたということがあって、台湾の方が日本について友好的な関係があり、こちらの方に。あとは、山口県とのつながりがあったのだらうと考えております。

○長友教育長

よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

残食についてですが、何か変化というか、増えてる減ってるとか何かありますか。以前と同じ状況でしょうか。

○吉村学校給食センター所長

結果から申しますと、改善はされているのではないかと考えております。献立のメニューを子ども

が食べやすいように改良して新しいメニューを入れたりしていますので、そのへんは少なくなっているのではないかと感じています。

○竹田委員

はい、ありがとうございます。

○長友教育長

はい、その他よろしいですか。

続きまして、山本社会教育課長お願いします。

○山本社会教育課長

社会教育課からご報告いたします。

初めに、青少年育成センター特別補導についてです。

10月25日に行われた「埴生祝い夢花火」に合わせて、補導員7人、事務局3人が2班に分かれて、埴生地区交流センターからコンビニエンスストア・青年の家・糸根公園・糸根神社・会場内を巡回しました。当日は、家族連れや中高生のグループ等、大勢の人で混雑しておりましたが、すれ違う子どもたちにあいさつや花火が終わったら早く帰宅するように声掛け活動を行いました。巡回中の問題は特にありませんでした。

次に、青年の家テニスコートの補修についてです。

テニスコートのラインの経年劣化により、コートの枠が見えにくい状況であったことから、11月14日補修作業を行いました。コートの地面を整地し、その上にラインテープを位置決めしテープ専用の釘を打ち付ける作業を行い、コート2面のうち1面の張替えを終えることができました。残りについてはまた、日を改めて行う予定としております。

最後に、ハマセンダン周辺の清掃活動についてです。

ハマセンダンとは、竜王山の麓にある大浜神社近くにある県の指定文化財です。樹齢はおよそ250年、国内最大級の大きさと言われています。

11月18日、そのハマセンダン周辺の清掃活動がありました。この活動は竜王山公園協賛会によるもので、当日は竜王中学校1年生53人も参加され、約1時間の作業で神社の階段、境内周辺の落ち葉集めや草抜きが行われ、周囲が大変きれいになりました。

文化財の清掃ということで、社会教育課職員も参加させていただきましたが、地域の方との交流の場として、また、中学生に地元の文化財を知っていただく場として、良い機会になったと考えております。

以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい、河村委員。

○河村委員

青年の家のテニスコートの件なんですけど、私の印象としては、ほとんど使われていないなと感じがするんですが、使用頻度は把握されているんですか。

○山本社会教育課長

定期的に確認しておりますが、利用はございます。今3面の内、1面は使えないような状況なんですけど、2面を使用しているところです。夜間も照明がございまして、利用が多々ございます。

○河村委員

そうなんです。じゃあ1面だけなんです。ラインがはっきりして使えるのは。

○山本社会教育課長

そうです。また時間を改めて行います。

○河村委員

はい。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

はい、嶋本委員。

○嶋本委員

1つ目の、埴生花火大会補導活動についてですが、この花火大会には行ったことがないのですが、住吉まつりなんか行くと、わりと中学生の集団というか子どもたちが、悪い意味ではなくて、騒いで楽しんでいるのをよく見られるんですが、山陽小野田市でそういう中学生とか、あるいは高校生ぐらいの子どもたちが補導の対象となるような集団はあるんでしょうか。

○山本社会教育課長

青少年育成センターでは、補導員の方が2か月に1回、補導活動は毎月行っているんですが、校区内の夕方時に声掛け活動を行っております。最近では声掛けを行ってもなかなか子どもたちに遭遇しないというご意見もあるんですが、今嶋本委員が言われたように、サンパーク周辺の小野田の花火大会、厚狭の花火大会、埴生の花火大会ということで、この3つの行事については夜間の補導を行っております。補導の対象と言うわけではありませんが訪れている子どもたちに早く帰宅するような声掛けを行っております。日中の行事については、補導活動は行っておりません。

○嶋本委員

そんなに目立った問題になるような子どもたちが、山陽小野田市内にいるというわけではないんですかね。

○山本社会教育課長

はい。問題行動は確認されておりません。

○嶋本委員

ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、増富市立図書館副館長お願いします。

○増富中央図書館副館長

はい。市立図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧ください。

中央図書館《10、11月行事報告》について、11月1日「英語でおはなし会ハロウィンファッションショー」を行いました。親子での参加を含む10組20名の方が、ハロウィンの仮装を図書館で披露しました。また、英語でおはなし会では、先生とサビエル高校の3名の生徒さんも仮装をして参加していただき、図書館をハロウィンで彩っていただきました。

次に【資料展示】につきましては、先ほど寄附の報告がありましたが、小野田ライオンズクラブ様から20万円相当の図書等の寄附をいただきましたので、11月7日から12月3日まで「小野田ライオンズクラブ寄贈本（世界遺産に関する本）の展示」を行っております。

続きまして、《11、12月行事予定》ですが、11月30日に「第12回図書館フェスティバル」を開催いたします。開会行事では、小野田めぐみ幼稚園の園児約55名の踊りでオープニングを飾っていただき、「絵本で笑顔！フォトコンテストの表彰式」を行います。その他の行事としましては、恒例の「人形劇まつり」や、「市民ときめき♪コンサート」等の他に、今年は水彩画家の「縄手秀樹さん絵画展示&トーク」も予定しております。また、今年も山口東京理科大学の学生さんにボランティアやコンサート、フォーミュラカーの展示等でご協力いただくこととなっております。

その他の行事としましては、12月6日『放送大学連携公開講座「モチベーションの心理学～やる

気高めるための科学的な解答～」』、12月14日に画家保手浜孝さん講演会『工藤直子さんの「のはらうた」に魅せられて』の開催を予定しております。

続きまして、厚狭図書館についてです。

《10、11月行事報告》の中では、11月16日厚狭地区複合施設で開催された「第15回SOS健康フェスタ」との連携行事として（おはなしのじかん）を開催し、「健康」をテーマとした絵本の読み聞かせを行いました。

【資料展示】でも、10月1日から11月16日まで、健康フェスタ特別展示として図書館で健康づくりの展示を行い、健康フェスタ当日は多くの方に厚狭図書館にお越しいただきました。

《11、12月行事予定》ですが、12月6日『歴史講座「豊臣秀吉・秀長兄弟と毛利氏」』を開催いたします。

図書館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。資料をご覧ください。初めに企画展についてご報告します。

企画展「戦争の記憶2025」は、開催から1か月経ち、入館者数が600人を超えたところです。10月19日（日）にギャラリートークを開催し、戦時下で暮らしが変化していく中、身の回りにどのようなものがあったのか、その背景等を解説しました。昭和19年生まれの方がいらっしゃって、戦後身の回りにあったもの等を思い出したと話され、他の参加者と理解を深め合いました。また、別のアンケートでは、「戦時下の暮らしがよくわかった」「広島・長崎といった歴史はメディアで知るが、自分の住む地の歴史の展示を見ることで、より自分事として戦争について考える貴重な機会になった」といった感想がありました。14日（金）には、ふるさと学習で小野田中学校1年生が来館し、企画展「戦争の記憶2025」を見学し、80年前の資料に驚いたり、説明を熱心にメモをとったりしていました。

次に、活動についてですが、小野田小学校2年生が来たときは学芸員の仕事について、お話をしました。また、高泊小学校での開作の出前講座では、自分たちが住むまちの成り立ちを学び、開作を指揮した人物、やないさんのじょうについて印象に残ったようでした。市民グループへの出前講座では、市内の文化財を紹介しましたが、予想以上に市民に文化財が知られていないことを実感いたしました。市民の文化財への理解と興味を深める機会となりましたので、今後も講座等を通じて、市の文化財や歴史への関心を高めたいと思います。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、小学校長会から高良校長先生お願いします。

○高良小学校長会代表

小学校長会から3点報告します。

1点目は、学校の教育活動についてです。2学期も順調に教育活動が行われており、令和7年度も残り3分の1程度になりました。また、朝夕、日中の気温も下がり、湿度も低下していることから、気持ちのよい学校生活を送ることができています。インフルエンザや新型コロナ等の流行も気になる

ところですが、大きな流行にはなっておりません。各校、感染には気を配りながら多様な活動を工夫して実施しています。

11月の初旬から、各校で行われた学習発表会や土曜参観日等、学校の特色や趣旨に応じて開催しており、保護者や地域の方の参観も多く、子どもたちの日々の学びの発表の場を共有することができております。現在は、12月初旬に開催される持久走大会に向け練習を重ねている学校が多くあり、持久走大会の開催も工夫しながら行っております。本校では、「赤崎っこRUNRUNタイム」と称し、中間時間に全校で5分間走を実施しております。一人ひとりが目標の距離を決めタブレットに入力することで、全校のトータルの走行距離がわかるようになっています。1038km離れたディズニーランドまで全校児童の総力を集めていくことにしています。また、今年から保護者の方のご参観も呼びかけましたところ毎回参加してくださいまして、保護者の方と、子どもと担任と一緒に汗を流しています。

2点目は、研究授業の公開の充実についてです。今年度の取組として「オープン校内研修」が始まりました。各校の研究授業を情報交換し合い、学校の枠を超えて他校の研修に参加する仕組みです。本校でも10月・11月の公開授業に市内の先生方をお迎えし、ともに授業づくりについて真剣に学び合うことができました。他校に赴くのは敷居が高いものですが、この仕組みですと申し込みも簡略化されており、気軽に参加できるのでよいと教職員から好評です。市内の教員同士で、授業について協議できることで、教職員の授業力向上につながる取組として今後も継続して参ります。

3点目は、児童の積極的な各種大会・コンクール等への参加についてです。スポーツの分野では、先月実施された通信陸上記録会の結果がまもなく発表されます。速報では、山陽小野田市の児童が多数入賞しております。また、文化的分野でも俳句・短歌の各コンクール、防災標語コンクール、読書感想画・読書感想文のコンクール、税に関する絵はがきコンクール等に山陽小野田市の児童が多数入賞を果たしています。学校の学びを外部機関に評価していただき、よい賞をいただくことで子どもたちの自尊感情をさらに向上させてまいります。

以上、小学校長会からの報告でした。

○長友教育長

それでは、ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

はい、嶋本委員。

○嶋本委員

持久走のお話がありましたが、みんなで走って走行距離の目標をお考えになってのことだと思うんですが、1人ひとりがそれぞれ走る距離というのは、ある程度目標値が個人個人で決まっているんですか。

○高良小学校長会代表

はい、個人個人で決めております。

○嶋本委員

それは学年に応じてということですか。

○高良小学校長会代表

個人で決めております。だから、ちょっと無謀な値の子もいるんですが、それはそれで認めていこ

うと考えています。新しい取組ですので、どうなるのかわからないですが、日々積み重なってまいりますので、楽しみにしています。

○嶋本委員

逆に目標値が低い児童もいらっしゃるのでしょうか。

○高良小学校長会代表

中にはいますが、そういうところには声掛けをしっかりと、一緒に走ろうよと声掛けしております。あとは、走ることだけが目的ではないので健康のために一緒に体を動かそう、歩いてもいいよ、と言いながら実施しております。

○嶋本委員

ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

それでは、中学校長会から大田校長先生お願いします。

○大田中学校長会代表

中学校から3点報告を申し上げます。

1点目は、10月25日（土）に市内の中学校が実施した文化祭についてです。どの学校も3年生を中心に、文化祭実行委員会や生徒会役員が主体的に企画し、エネルギッシュなパフォーマンスを披露しました。全校生徒や保護者の方々が感動を共にしたり達成感を味わったりする中で、また一回り成長した生徒たちの姿を実感しています。

また、10月31日の午前中に不二輸送機ホールにて開催した中学校音楽祭では、各校の文化祭の合唱コンクールで最優秀・優秀を獲得したクラスが発表しました。不二輸送機ホールには多くの保護者の皆様が集まる盛況ぶりでした。

2点目は、3年生の進路確定に向けた取組です。今月、全中学校で生徒・保護者を対象とした、進路説明会を実施しました。今月末を目処に、進路についての三者懇談を実施して、それぞれの進路希望等を確定します。また、地域の方々の協力を得て、地域の方に面接官になってもらう等、地域と学校が一体となって面接指導を行っている学校もあります。今年度は県立学校の特色選抜とWeb出願が導入される年であり、生徒だけでなく保護者にとっても初めてのことで戸惑うこともあると思います。安心して受験に挑めるよう学校として最大限のサポートをしていきます。

3点目です。2年生を中心とした新生徒会役員選挙についてです。生徒会役員の立候補を募り、選挙運動やマニフェストの表明、投票日における立会演説会の実施、市選挙管理委員会から投票箱等を借用しての投票を行います。リーダーとなる代表を選ぶ選挙の意義、大切さ等、主権者教育も進めながら実施していきます。

以上です。

○長友教育長

はい。それでは、ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

はい、嶋本委員。

○嶋本委員

3年生の進路のお話しなんですが、東京とか大阪なんかは私立の方が人気があるというか、教育が充実しているということで、親御さんは私立の方に行かせたいという話を聞いているんですけど、山口県内の高校校区はどんな感じなんでしょうか。

○大田中学校長会代表

東京、大阪は先行して高校の紹介を実施していることによる影響が出ているとメディア等でも情報があります。山口県をはじめ地方では、公立人気というのがあるわけなんですけども、それは背景には経済的な理由が大きいのではないかと推察されるので、今協議されている高校無償化の議論を中止しながら動向を見る必要があります。高校側も今各校の特色を出そうと頑張られているので、子どもたちの希望に合った進路を実現していけるよう情報提供していくところです。

○嶋本委員

もう1つなんですが、今の高校入試の競争倍率はそんなに高くないんじゃないかと思うんですが、だいたい皆さんは希望校に合格されるんでしょうか。

○大田中学校長会代表

人によりますが、最近は必ずしも学力偏重というわけではなく多様な入試方法を実施しているところもありまして、希望と家庭の状況さえクリアできれば、どうにか進路を実現できます。ただ、第1希望が本人の力等、もちろん選抜なので、なかなか上手くいかないこともあります。公立学校の実情としては高校の再編統合の問題が指すように倍率の低下がありますので、そういう意味ではやや入りやすくなっているかなと思います。

○嶋本委員

ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい、末永委員。

○末永委員

今、毎年毎年入試の出願方法が変わってきているときだと思うんですけど、今年度も説明会が終わられて、保護者からすごく不安だということをたくさん聞きましたので、その辺の説明とか先生方も初めてのことだと思うんですけど、説明とか細やかに支援していただいて、個別にも支援していただけると保護者としては、ありがたいなと思います。あと、中学校だと先生と生徒は毎日会って話をするとするんですけど、そこから子どもから親にちゃんと言ってるかとかも色々問題があったり、入試の形態によっては、ここに丸を絶対につけないといけなかったりとか、毎年色々聞くのでぜひ細やかなチェック体制とか、家庭でももちろんしていると思うんですけど、学校の方もしていただいて、間違いがないようにみんなが希望の高校に入れるといいなと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○大田中学校長会代表

おもに特色選抜とWeb出願のことが気になっていると思われます。特色選抜については、簡単に言うと、学校によってカッティングラインというか、例えば9教科の評定合計が30とか、ラインを示してくれたことで、選抜の透明性も高まったということもあり、保護者にとっては安心な材料も

多いかなと思います。一方、Web出願については、家庭環境によって、Web環境が異なることもあり、書かせた方が早かった等、意見はあると思います。手続きはWebではありますが、どの生徒が出したか等、学校でも状況を確認しながら適切に連絡し、保護者と生徒をフォローしていきたいと思っています。

○末永委員

はい、ありがとうございます。お願いいたします。

○長友教育長

はい。その他よろしいですか。

それでは、以上で報告を終わりたいと思います。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは、次回会議日程について教育次長よろしくをお願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の日程でございますが12月25日（木）14時00分から市役所の第2別館会議室2で開催することをお諮りいたします。よろしくお願いいたします。

○長友教育長

はい。皆さんよろしいでしょうか。

（「はい。」という声あり）

それでは、ここで前半を終了いたします。どうもお疲れ様でした。

15時01分休憩

15時04分再開

報告第12号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について

○長友教育長

次に、報告第12号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について」事務局説明をお願いします。

○増富中央図書副館長

それでは、報告第１２号について報告いたします。

令和７年１０月２８日に中央図書館第１会議室にて、山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会を開催いたしました。当日は、委員９名中６名の出席をいただいております。

議題としまして、第四次計画の取組状況と成果について事務局から報告を行い、委員から意見をいただきました。委員からの主な意見として、図書館から幼稚園・保育園への団体貸出について、図書館に希望を伝えるとそれに見合った本を選出してもらえて、面白い仕掛けのある本や珍しい本に触れることができ子どもたちも喜んでいる。また、学校司書が大変優秀で感心している。学校司書に協力できるようにボランティアグループもスキルアップしていきたい。といった意見をいただき、本市の取組状況について委員の皆様から概ね評価をいただきました。

第四次計画は、令和９年度までの５か年の計画期間となっておりますので、今後も計画に基づき子どもの読書活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

報告は以上です。

○長友教育長

はい。この件に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

学校司書さんに対する評価が本当に認められていて、私たちも学校訪問させていただいて、どの学校の学校司書さんも本当にいろんな工夫をされて学校との連携もとおられて、素晴らしいなと思っています。兼務じゃない方がというのはありますけど、これはもう当面兼務でいくということでしょうから、その辺りの校区との連携はしっかり考えてあげていただければと思います。

○増富中央図書副館長

はい。ありがとうございます。

会議の中でも学校にボランティアで参加されている委員さんから、学校司書さん方が大変優秀という意見をいただきまして、その意見の中で学校の校長先生が委員さんになっていただいてまして、そちらの校長先生の方から補足の説明がありましたが、学校司書さんは、全ての小学校に配属されてまして、その小学校区の司書が中学校をそれぞれ担当しているので、小学校のときの生徒がそのまま中学校に行ったりというような縦のつながりができているので、兼務であるが、いいように働いているという意見をいただきました。

○竹田委員

はい、ありがとうございます。

○長友教育長

その他よろしいですか。

はい。それでは採決いたします。報告第１２号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会の結果について」ご承認いただける方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

はい。報告第１２号は全員賛成により承認されました。

県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非公開

県費負担教職員の兼職及び他の事業等の従事許可について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

その他になりますが、何かございますか。

（「ありません」という声あり。）

閉 会

○長友教育長

これで本日予定されていましたが議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様お疲れ様でした。

１５時１４分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和7年 11月 20日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印